



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月7日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ユー・エス・エス

コード番号 4732 URL <https://www.ussnet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 安藤 之弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長統括本部長 (氏名) 山中 雅文 TEL 052-689-1129

四半期報告書提出予定日 2022年2月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	59,623	10.5	30,462	18.3	31,080	17.9	22,218	25.4
2021年3月期第3四半期	53,964	△7.3	25,758	△3.7	26,370	△3.2	17,715	△3.0

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 23,407百万円 (29.6%) 2021年3月期第3四半期 18,060百万円 (△2.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	89.21	89.04
2021年3月期第3四半期	71.05	70.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	207,146	179,114	85.1
2021年3月期	210,699	173,524	81.3

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 176,211百万円 2021年3月期 171,394百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	27.75	-	27.75	55.50
2022年3月期	-	29.20	-	-	-
2022年3月期 (予想)	-	-	-	29.20	58.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,600	3.6	38,400	6.0	39,100	5.7	26,500	558.8	106.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2022年3月期3Q	313,250,000株	2021年3月期	313,250,000株
2022年3月期3Q	65,991,486株	2021年3月期	63,943,259株
2022年3月期3Q	249,047,384株	2021年3月期3Q	249,318,461株

(注) 2022年3月期3Qの期末自己株式数には213,100株、2021年3月期の期末自己株式数には357,000株、U S S従業員持株会専用信託が所有する株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2022年2月7日(月)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の国内自動車流通市場は依然として世界的な半導体不足等により、新車登録台数（軽自動車含む）は3,018千台（前年同期比6.5%減）となりました。

中古車登録台数（軽自動車含む）は、新車の減産による販売台数減の影響で、下取りにより発生する中古車が減少したことなどから、4,782千台（前年同期比3.6%減）となりました。（（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会調べ）

また、中古車需要に大きく影響を及ぼす中古車輸出は、新型コロナウイルス感染症発生前とほぼ同水準まで回復し、輸出台数は954千台（前年同期比23.7%増）となりました。（財務省貿易統計調べ）

オートオークション市場における出品台数は5,041千台（前年同期比2.8%減）、成約台数は3,464千台（前年同期比3.5%増）、成約率は68.7%（前年同期実績64.6%）となりました。（（株）ユーストカー調べ）

このような経営環境の中、U S S グループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高59,623百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益30,462百万円（前年同期比18.3%増）、経常利益31,080百万円（前年同期比17.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益22,218百万円（前年同期比25.4%増）となりました。

オートオークション

オートオークションの出品台数は1,998千台（前年同期比3.9%増）、成約台数は1,308千台（前年同期比8.6%増）、成約率は65.5%（前年同期実績62.6%）となりました。

オートオークションにおける売上高は、取扱台数が増加したことに加え、成約率の上昇などにより増加しました。

営業費用については、のれん償却額減や低額車コーナーの買取保証台数の減少などにより減少しました。

この結果、オートオークションのセグメントは、外部顧客に対する売上高47,593百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益29,346百万円（前年同期比16.3%増）となりました。

中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、オークション相場が高水準で推移したことにより、台当たり粗利益が増加したものの、販売台数の減少により増収減益となりました。

事故現状車買取販売事業は、高額車両の取扱いが増加したことにより増収となったものの、販売台数の減少により増収減益となりました。

この結果、中古自動車等買取販売のセグメントは、外部顧客に対する売上高6,543百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益161百万円（前年同期比31.9%減）となりました。

その他

リサイクル事業は、金属スクラップ相場が高値圏で推移したことによる売上高および粗利益の増加に加え、解体工事の取扱いが増加したことなどから増収増益となりました。

この結果、その他のセグメントは、外部顧客に対する売上高5,486百万円（前年同期比43.9%増）、営業利益939百万円（前年同期比344.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は207,146百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,552百万円減少しました。これは主に、自己株式取得のための預け金など流動資産のその他が3,680百万円増加した一方、オークション貸勘定が3,834百万円減少、減価償却などにより有形固定資産が2,360百万円、無形固定資産が698百万円減少したことによるものです。

負債合計は28,032百万円となり、前連結会計年度末と比較して9,142百万円減少しました。これは主に、オークション借勘定が3,207百万円、未払法人税等が3,184百万円減少したことによるものです。

純資産合計は179,114百万円となり、前連結会計年度末と比較して5,589百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益22,218百万円に対し、配当金を14,218百万円支払ったことにより利益剰余金が7,999百万円増加したことによるものです。

<キャッシュ・フローの状況>

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して215百万円減少し、64,654百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は20,544百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益32,705百万円（前年同期比24.1%増）、法人税等の支払額13,206百万円（前年同期比38.3%増）によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は297百万円となりました。これは主に、関係会社株式の売却による収入1,670百万円（前年同期実績0百万円）、有形固定資産の取得による支出896百万円（前年同期比82.6%減）、無形固定資産の取得による支出483百万円（前年同期比85.2%減）によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は21,057百万円となりました。これは主に、配当金の支払額14,218百万円（前年同期比1.0%減）、自己株式の取得による支出3,886百万円（前年同期比297.3%増）によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、想定する範囲内で推移しており、前回公表（2021年11月8日発表）の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	67,770	67,554
オークション貸勘定	6,596	2,762
受取手形及び売掛金	2,215	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	2,040
有価証券	3,000	3,000
棚卸資産	1,028	1,041
その他	940	4,620
貸倒引当金	△23	△20
流動資産合計	81,528	80,998
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	35,548	34,009
土地	63,686	63,601
建設仮勘定	30	81
その他（純額）	4,037	3,249
有形固定資産合計	103,302	100,941
無形固定資産		
のれん	8,906	8,501
その他	6,281	5,988
無形固定資産合計	15,188	14,490
投資その他の資産		
投資その他の資産	10,823	10,848
貸倒引当金	△143	△132
投資その他の資産合計	10,680	10,716
固定資産合計	129,171	126,148
資産合計	210,699	207,146

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
オークション借勘定	11,788	8,581
支払手形及び買掛金	707	420
短期借入金	—	301
1年内返済予定の長期借入金	220	220
未払法人税等	7,408	4,224
引当金	767	411
その他	6,030	4,702
流動負債合計	26,922	18,860
固定負債		
長期借入金	2,911	2,579
退職給付に係る負債	776	854
資産除去債務	617	624
その他	5,947	5,113
固定負債合計	10,253	9,172
負債合計	37,175	28,032
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	18,911	18,911
利益剰余金	196,315	204,315
自己株式	△57,435	△61,043
株主資本合計	176,673	181,064
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	378	802
土地再評価差額金	△5,636	△5,636
退職給付に係る調整累計額	△21	△19
その他の包括利益累計額合計	△5,278	△4,853
新株予約権	432	501
非支配株主持分	1,697	2,400
純資産合計	173,524	179,114
負債純資産合計	210,699	207,146

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	53,964	59,623
売上原価	20,567	22,336
売上総利益	33,397	37,286
販売費及び一般管理費	7,639	6,824
営業利益	25,758	30,462
営業外収益		
受取利息	5	4
不動産賃貸料	470	559
雑収入	274	195
営業外収益合計	750	759
営業外費用		
支払利息	10	9
不動産賃貸原価	115	124
雑損失	12	7
営業外費用合計	138	141
経常利益	26,370	31,080
特別利益		
固定資産売却益	50	17
関係会社株式売却益	0	1,627
特別利益合計	51	1,645
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	56	20
その他	8	0
特別損失合計	65	20
税金等調整前四半期純利益	26,356	32,705
法人税等	8,493	9,724
四半期純利益	17,862	22,981
非支配株主に帰属する四半期純利益	147	763
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,715	22,218

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	17,862	22,981
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	196	423
退職給付に係る調整額	1	2
その他の包括利益合計	197	425
四半期包括利益	18,060	23,407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,913	22,643
非支配株主に係る四半期包括利益	147	763

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	26,356	32,705
減価償却費及びその他の償却費 のれん償却額	3,917	3,794
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,322	404
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△25	△13
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△372	△355
受取利息及び受取配当金	△88	80
支払利息	△69	△17
支払利息	10	9
関係会社株式売却損益 (△は益)	△0	△1,627
有形固定資産除売却損益 (△は益)	1	1
オークション勘定の増減額	1,393	626
売上債権の増減額 (△は増加)	1,030	175
仕入債務の増減額 (△は減少)	5	△286
未払金の増減額 (△は減少)	△25	△213
預り金の増減額 (△は減少)	△1,065	△1,099
その他	145	△459
小計	32,534	33,724
利息及び配当金の受取額	83	37
利息の支払額	△11	△10
法人税等の支払額	△9,552	△13,206
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,054	20,544
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,145	△896
有形固定資産の売却による収入	81	28
無形固定資産の取得による支出	△3,265	△483
関係会社株式の売却による収入	0	1,670
その他	△39	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,367	297
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	16	301
長期借入れによる収入	980	—
長期借入金の返済による支出	△264	△332
預り保証金の預りによる収入	106	134
預り保証金の返還による支出	△104	△101
自己株式の取得による支出	△978	△3,886
自己株式の売却による収入	194	242
自己株式取得のための金銭の信託の増減額 (△は増加)	—	△3,113
配当金の支払額	△14,364	△14,218
非支配株主への配当金の支払額	△51	△60
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△82	△23
その他	△28	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,575	△21,057
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	111	△215
現金及び現金同等物の期首残高	50,829	64,870
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,940	64,654

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結会計期間末における自己株式の残高は、前連結会計年度末より3,608百万円増加し、61,043百万円となっております。これは主に2021年11月8日開催の取締役会決議に基づき、2021年11月9日から2021年12月31日までに自己株式2,192,100株を取得したためです。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しておりますが、当該期首残高に与える影響はありません。また、収益認識会計基準等の適用による、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシオン	中古自動車 等買取販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	44,111	6,040	50,151	3,812	53,964	—	53,964
セグメント間の 内部売上高または 振替高	277	0	277	40	317	△317	—
計	44,388	6,040	50,429	3,853	54,282	△317	53,964
セグメント利益	25,233	237	25,471	211	25,683	75	25,758

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業および中古自動車の輸出手続代行サービス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額75百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシオン	中古自動車 等買取販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	47,593	6,543	54,136	5,486	59,623	—	59,623
セグメント間の 内部売上高または 振替高	240	0	240	2	242	△242	—
計	47,833	6,543	54,376	5,488	59,865	△242	59,623
セグメント利益	29,346	161	29,508	939	30,447	14	30,462

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業等であります。

2. セグメント利益の調整額14百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	2021年3月期	2022年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	539	596	10.5	776
営業利益	257	304	18.3	384
経常利益	263	310	17.9	391
親会社株主に帰属する四半期(当期)	177	222	25.4	265
純利益				

(2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	2021年3月期	2022年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	101	111	9.4	146
成約手数料	100	110	9.8	144
落札手数料	154	169	9.4	222
バイクオークション手数料	6	6	3.7	8
商品売上高	11	10	△8.6	13
その他の営業収入	66	67	2.4	91
オートオークション計	441	475	7.9	626
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	34	36	7.3	49
事故現状車買取販売	26	28	9.6	38
中古自動車等買取販売計	60	65	8.3	87
《その他》				
リサイクル事業	35	54	54.7	60
中古自動車の輸出手続	2	-	-	-
代行サービス				
その他	0	0	△1.8	0
その他計	38	54	43.9	61
合計	539	596	10.5	776

- (注) 1. 顧客との契約から生じる収益およびそれ以外の収益を区分して記載しておりません。
2. バイクオークション手数料は、株式会社ジャパンバイクオークションが運営するバイクオークションの手数料であります。
3. 2021年3月に中古自動車の輸出手続代行サービス事業から撤退しております。

(3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	2021年3月期	2022年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	84	13	△83.6	45
完工ベース	54	10	△81.1	43
減価償却費	38	36	△4.9	49